

不定詞の見取り図

年 組 番 名前 _____

この紙のゴール: to+動詞の原形が「～すること」か「～するために」かを見分けられる

学び直しから始めるクラス 偏差値のめやす ～40程度 この版は「～すること」と「～するために」の2つだけを見ます

気づき AとB、どちらにも to see がある。でも訳し方が違う。何が違う？ (30秒考えて、となりの人と答え合わせ)

A	I want to see the new movie.	その新作映画を見たい。
B	I went to the theater to see the new movie.	新作映画を見に映画館へ行った。

同じ to see でも、Aは「見ること」(want の目的語＝名詞)、Bは「見るために」(目的＝副詞)。形は1つ、はたらきが3つ。見分け方はかたまりの前に何があるか—動詞のすぐあとなら目的語(名詞)。名詞のあとは、「その名詞を～する」の関係が作れるときだけその説明(形容詞)です(something to tell=tell something が作れる/the theater to see the movie は see the theater ではないので目的)。

整理 不定詞の基本の2つ

形	作り方	表すこと	例文
名詞のはたらき	to + 動詞の原形 (主語・目的語・補語)	～すること	My dream is to work with animals. 動物と働くのが夢だ。
副詞のはたらき	文 + to + 動詞の原形	～するために・～して	I stayed up late to finish my homework. 宿題を終えるため夜ふかしした。

この2つが見分けられれば、この単元はまず十分です。見分け方はかたまりの前に何があるか—動詞のすぐあとなら「～すること」、文がもう完成しているあとなら「～するために」。

確認 () 内から正しいほうを選ぼう。

知識・技能

- (1) I want (to go / going) to Australia someday.
- (2) I got up early (catching / to catch) the first train.

確認の解答

(1)	to go	want のうしろは to+動詞の原形 (名詞のはたらき)。
(2)	to catch	目的は to+原形。for+ing は物の用途 (パン切りナイフの類) に使う。

つまずき① 3用法の「名前」を覚えても読めない

訳の分類 (～すること／～するための／～するために) は日本語に直すときの都合で、英語の側では「to+原形のかたまりが文のどこに入っているか」だけです。名前を先に教えると名前あてゲームになり、本文では役に立ちません。渡すのは手順1つ—**かたまりの前に何があるか**。動詞のすぐあとなら目的語 (名詞)。名詞のあとは「その名詞を～する」の関係が作れるときだけその説明 (形容詞) で、作れなければ目的 (副詞) です (something to tell は tell something が作れる／the theater to see the movie は see the theater ではない)。

つまずき⑤ to のうしろが原形にならない

to のうしろは**いつも動詞の原形**です。主語が三人称単数でも、文が過去形でも、to のかたまりは形を変えません (She wants to go. / I went there to see him.)。時制は前の動詞が引き受けているからです。書けたら**to のうしろ1語だけ**を見返す習慣をつけさせてください。

× She wanted to went to the party. → ○ She wanted to go to the party.
文が過去形でも to のうしろは原形。時制は前の動詞 (wanted) が引き受けている。

授業のひとつ 3用法の名前 (名詞的・形容詞的・副詞的) を先に覚えさせないでください。名前あてゲームになり、本文を読むときに残りません。この帯は「～すること」と「～するために」の2つを、**前に何があるかで見分ける—それだけで英コミの本文が読めるようになります。**

